

第 28 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日時 平成 27 年 2 月 9 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 10

2. 場所 (一社) 原子力安全推進協会 13 階 D 会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員 : 久保主査 (東京大学), 今村幹事 (東京電力), 辻 (JANSI), 高橋 (北海道電力), 大竹 (東北電力), 大河内 (中部電力), 藤井 (北陸電力), 村上 (関西電力), 増田 (四国電力), 武井 (電源開発), 奥谷 (日本原子力発電), 清水 (大林組), 藪内 (鹿島建設), 萩原 (清水建設), 森山 (大成建設) (計 15 名)

代理出席 : 森田 (東京電力・佐藤代理), 落合 (中国電力・橋本代理), 植木 (東芝・中島代理), 野坂 (三菱重工業・伊神代理), 大宮 (竹中工務店・羽場崎代理) (計 5 名)

欠席者 : 北山 (首都大学東京), 続 (九州電力), 飯島 (日立 GE) (計 3 名)

常時参加者 : 森谷 (原子力規制庁), 古橋 (日本大学), 田守 (信州大学) (計 3 名)

オブザーバ : 中村 (東京電力), 福島 (鹿島建設) (計 2 名)

事務局 : 井上 (日本電気協会) (計 1 名)

4. 配布資料

資料 No. 28-1 第 27 回建物・構築物検討会議事録 (案)

資料 No. 28-2 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿

資料 No. 28-3 JEAC4601 改定スケジュール

資料 No. 28-4 原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-201X 改定案に対する原子力規格委員会コメント及び回答案

資料 No. 28-5 「第 3 章 建物・構築物の耐震設計」改定案

資料 No. 28-6 「第 3 章 附属書」改定案

資料 No. 28-7 「第 3 章 参考資料」改定案

資料 No. 28-8 平成 27 年度 活動計画 (案)

資料 No. 28-9 原子力発電所重大事故等対処施設耐震設計技術指針 (仮称) 制定案

5. 議事

(1) 配付資料確認, 委員交代確認, 定足数確認,

事務局より, 代理出席者 5 名及びオブザーバ 2 名が紹介され, 規約に基づき久保主査の承認を得た。代理出席を含めて委員 20 名出席であり, 決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席 (16 名以上)」を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録の確認

事務局より, 資料 No. 28-1 に基づき, 検討会の前回議事録 (案) の概要説明があり, 正式議事録とすることが承認された。

- (3) 建物・構築物検討会委員の変更について
事務局より、資料 No. 28-2 に基づき、検討会委員の変更について説明し出席委員に確認した。
(次回耐震設計分科会により承認)
・変更：橋本隆（中国電力） → 秋山将光（中国電力）
- (4) JEAC4601 改定スケジュールについて
幹事より、資料 No. 28-3 に基づき、JEAC4601-2008/JEAG4601-2008 改定スケジュール（案）の説明があった。
今後のスケジュールは、2月19日の耐震設計分科会で原子力規格委員会書面投票コメント回答案が審議・承認され、原子力規格委員会三役に回答案が了承されると2月末～3月初旬に2か月間の公衆審査に移行することとなり、公衆審査で意見がなければ4月末～5月連休明けに改定案が制定となる予定である。その後発刊準備を行い8月～9月頃には発刊できる予定である。
- (5) 原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-201X 改定案に対する原子力規格委員会コメント及び回答案について
幹事及び委員より、資料 No. 28-4～7 に基づき、JEAC4601-201X 改定案に対する原子力規格委員会コメント及び回答案の説明があった。
回答案の一部を修文し2月19日の耐震設計分科会で説明することとした。
- (6) 平成27年度 活動計画について
幹事より、資料 No. 28-8 に基づき、平成27年度 活動計画の説明があった。
- (7) 原子力発電所重大事故等対処施設耐震設計技術指針（仮称）制定案について
幹事より、資料 No. 28-9 に基づき、原子力発電所重大事故等対処施設耐震設計技術指針（仮称）制定案の概要説明があった。
本指針は機器・配管系検討会で検討・作成されているが建物構築物についても関係するものがあるので作業会に参加することとした。
- (8) その他
・次回検討会は、今後の動向により実施する時期を決定することとした。

以 上